

動労千葉と共に、臨調攻撃粉碎に総決起する

6.5集会
での発言から
その1

「六・五集会」は、軍拡と戦争体制をめざす臨調攻撃と真向から闘う決意を打ち固めるものとして圧倒的な成功をかちとった。この集会では、多くの闘う組織・団体から支援・連帯のあいさつが行われたので、ここに発言の要旨を御紹介する。

自分の権利を返上することは、
労働者の自殺行為だ！共に闘おう

市川福平氏（社会党県本部副委員長）
動労千葉の仲間と三里塚や全国の闘う皆さんと共に闘う立場からあいさつします。
今集会の主な目標は、国鉄労働運動解体攻撃に反対することだ。労働者の権利を自ら返上する！これは、労働運動にとって自殺行為だ。
政府・財界は、労働者の正しい要求にこたえていない。国家予算において軍事費七・七％の突出など、福祉の切り捨て、しわよせを行っている。労働者への攻撃の本質を見抜き、三里塚をはじめ様々な闘いを今後も共に闘おう。

今こそ、動労千葉の
周りに結集して闘おう

浅田光輝氏（動労ジェット闘争支援共闘会議代表 世話人）
今、国鉄労働者への攻撃が集中している。「タルミ」が赤字の原因かのように攻撃している。そして、国鉄分割・民営を打ち出している。しかし、真の国鉄赤字は何か。新幹線などへの膨大な設備投資である。成田空港の地下に一九五億円の巨費が投じられた新幹線の駅がねむっている。日本全国でこのような設備投資がもりもりつつ国鉄は大赤字となっている。
この「赤字」を国鉄労働者の責任にしている。しかし、すべての責任は、政府・国鉄当局にある。「赤字」攻撃・キャンペーンの意図は、国鉄労働運動の解体にある。しかし、総評は、これに全く反対しようとしていない。動労は特に臨調に同調している。

国労も「分割・民営を打ち出した臨調は、国鉄の公共性を見落している」「正すべきは正す」としており、これは国鉄総裁と同じだ。
動労千葉の闘いは、全国の国鉄労働者の下部からの闘いを必ず巻き起す。
今の状況は、結構だ。だめなものば、だめになつてしまった方がよい。動労千葉の周りに結集し、これを軸に闘おう。
皆さん、どうぞがんばって下さい。

少数でも大義があれば、
必ず勝利する

佐藤芳夫氏（全造船石川島分会委員長）
今日、石川島分会から四人の代表が参加した。二割動員だ。

82・6・10

No. 1066

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）（電）七二〇七

「取場討議資料」第2弾発刊！

臨調攻撃と対決し、取場から反撃の叩きをつくり出していくために、心持・心算の「資料」。動労千葉の各取場の叩きと基本路線に裏打ちされた実践ガイド。平易な解説と豊富な資料で好評。

国鉄のみならず、あらゆる産別の闘う仲間、積極的に利用して欲しい。

★ B5版・47頁
販売 250円

★ 郵送による申し込みも受け付けます。（送料100円）
但し10部以上の場合は、送料はこちらで負担します。

内容概略

- ① 六・五臨調資料4部会報告を弾劾する。【声明】
- ② 労働運動の原則を堅持し、取場既得権防衛の闘い
- ③ 資料①の部会報告、②のマル生、松岡氏の教訓、③の日本労働4集、他



国鉄千葉動力車労働組合

労働運動の原則を堅持し、取場既得権防衛の闘いに今こそ総決起しよう

第二臨調資料発刊！ 第四部会報告発刊！
国鉄労働運動解体攻撃を許さず！